

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 福

上場会社名 RKB毎日放送株式会社

コード番号 9407 URL <http://rkb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永守 良孝

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 松浦 泰久

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,711	2.3	686	24.0	719	20.4	425	20.6
24年3月期第2四半期	11,449	△0.8	553	12.4	597	13.9	352	32.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 95百万円 (△66.7%) 24年3月期第2四半期 287百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	38.75	—
24年3月期第2四半期	32.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	37,669	26,064	67.6
24年3月期	39,129	26,137	65.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 25,473百万円 24年3月期 25,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,760	△3.1	1,310	△26.8	1,360	△26.3	750	△20.3	68.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	11,200,000 株	24年3月期	11,200,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	230,654 株	24年3月期	229,700 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	10,969,929 株	24年3月期2Q	10,972,818 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,410	△0.9	1,320	△22.7	1,350	△21.6	770	△15.6	70 19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の適切な利用に関する説明

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
5. 参考情報	10
(1) 当四半期の個別業績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかに回復しつつあるものの、欧州政府の債務危機の再燃や世界経済の減速により、先行き不透明な状況が続いています。

主たる事業の放送業界も不透明感が強まり、広告活動に対する企業マインドにも影を落としています。そのような状況の中、当社グループは放送事業はもとより、その他事業においても収益確保に努めました。その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は117億11百万円(前年同期比 2.3%増)で増収となり、営業利益は6億86百万円(前年同期比 24.0%増)、経常利益は7億19百万円(前年同期比 20.4%増)、四半期純利益は4億25百万円(前年同期比 20.6%増)でいずれも増益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①放送事業

放送事業は、収入81億23百万円(前年同期比 4.1%増)、営業利益4億70百万円(前年同期比 10.0%増)となりました。

テレビ部門は、収入71億31百万円(前年同期比 3.6%増)となりました。タイム収入は3.1%減となりましたが、スポット収入は前年度が震災の影響で大きく落ち込んでいた反動で3.4%増となりました。業種別では、化粧品・洗剤、薬品、アルコール飲料などが落ち込んだものの、輸送機器、食品、卸売・小売などが伸びました。

ラジオ部門は、収入9億92百万円(前年同期比 8.0%増)となりました。スポット収入は11.0%増、タイム収入も8.3%増となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入20億27百万円(前年同期比 3.4%減)、営業損失1億16百万円(前年同期は営業損失1億14百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では業界内の競争が一層の厳しさを増す中、自治体向けソフトウェア開発の受注が減少し、減収となりました。その結果、利益面でも改善には至りませんでした。

③不動産事業

不動産事業は、収入6億90百万円(前年同期比 1.5%減)、営業利益3億77百万円(前年同期比 3.1%増)でほぼ前年並みとなりました。

④その他事業

その他事業は、収入14億64百万円(前年同期比 7.0%増)、営業損失42百万円(前年同期は営業損失1億18百万円)となりました。

催事部門では、蜷川幸雄演出のシェイクスピア劇「トロイラスとクレシダ」、「輝ける皇妃エリザベータ展」などを開催したほか、「マイケル・サンデル教授 in 福岡 若者の希望と幸せの創造」を企画制作しました。また、コンテンツ部門では、データ放送サービス「よん d a y」、ライツ部門でも映画の出資に対する分配金の増加により、すべての部門で増収となり、利益面でも営業損失が縮小しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億59百万円減少し、376億69百万円となりました。これは主に、回収等により受取手形及び売掛金が8億43百万円、株価等の下落により投資有価証券が5億48百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ13億86百万円減少し、116億4百万円となりました。これは主に、支払等により未払金が3億93百万円、未払法人税等が3億15百万円、未払費用が2億69百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ73百万円減少し、260億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期における業績は、第2四半期累計期間の売上、利益ともに予想を上回りましたが、株価の低迷や領土問題をめぐる日中関係の悪化による国内経済への悪影響が予想され、平成24年8月3日に公表いたしました業績予想を修正しております。この結果、通期については、売上高237億60百万円、営業利益13億10百万円、経常利益13億60百万円、当期純利益7億50百万円を見込んでおります。

(参考)

・平成24年8月3日発表の業績予想(通期)

連結：売上高242億円、営業利益13億80百万円、経常利益14億20百万円、当期純利益8億10百万円

個別：売上高184億70百万円、営業利益12億70百万円、経常利益13億円、当期純利益7億40百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,802	4,951
受取手形及び売掛金	3,734	2,891
有価証券	30	75
たな卸資産	177	278
その他	2,851	2,775
貸倒引当金	△13	△8
流動資産合計	11,582	10,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,929	7,767
機械装置及び運搬具（純額）	1,364	1,336
土地	13,321	13,321
その他（純額）	253	205
有形固定資産合計	22,868	22,630
無形固定資産	61	58
投資その他の資産		
投資有価証券	3,594	3,046
その他	1,033	982
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	4,616	4,017
固定資産合計	27,546	26,706
資産合計	39,129	37,669
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	317	206
短期借入金	727	727
未払法人税等	680	364
設備関係支払手形	88	397
アナログ設備撤去引当金	16	16
資産除去債務	27	27
その他	3,203	2,506
流動負債合計	5,060	4,247
固定負債		
長期借入金	1,368	1,104
退職給付引当金	5,015	4,965
アナログ設備撤去引当金	25	25
負ののれん	35	28
資産除去債務	5	5
その他	1,480	1,228
固定負債合計	7,930	7,357
負債合計	12,991	11,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	24,822	25,083
自己株式	△175	△175
株主資本合計	25,212	25,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309	1
その他の包括利益累計額合計	309	1
少数株主持分	615	590
純資産合計	26,137	26,064
負債純資産合計	39,129	37,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	11,449	11,711
売上原価	7,251	7,325
売上総利益	4,198	4,386
販売費及び一般管理費	3,645	3,699
営業利益	553	686
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	51	34
その他	25	24
営業外収益合計	79	60
営業外費用		
支払利息	32	24
その他	2	2
営業外費用合計	34	26
経常利益	597	719
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	1	—
国庫補助金	46	—
特別利益合計	48	—
特別損失		
固定資産除売却損	15	7
投資有価証券評価損	—	4
ゴルフ会員権評価損	6	5
その他	7	0
特別損失合計	29	16
税金等調整前四半期純利益	616	703
法人税等	274	299
少数株主損益調整前四半期純利益	342	403
少数株主損失(△)	△10	△21
四半期純利益	352	425

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	342	403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	△308
その他の包括利益合計	△54	△308
四半期包括利益	287	95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298	116
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△21

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 合計
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,727	2,071	551	1,098	11,449	—	11,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	73	27	149	268	518	△518	—
計	7,800	2,099	700	1,367	11,968	△518	11,449
セグメント利益又は損失(△)	427	△114	365	△118	559	△6	553

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	559
セグメント間取引消去	△6
四半期連結損益計算書の営業利益	553

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 合計
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,030	1,994	542	1,142	11,711	—	11,711
セグメント間の内部 売上高又は振替高	92	33	147	321	594	△594	—
計	8,123	2,027	690	1,464	12,305	△594	11,711
セグメント利益又は損失(△)	470	△116	377	△42	688	△2	686

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	688
セグメント間取引消去	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	686

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 参考情報

(百万円未満切捨て)

(1) 平成25年3月期第2四半期の個別業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

【個別経営成績(累計)】

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,333	4.9	763	24.9	790	26.8	453	37.9
24年3月期第2四半期	8,898	3.5	611	8.9	623	7.3	328	12.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	41 31	—
24年3月期第2四半期	29 95	—

【個別財政状態】

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	32,552	23,329	71.7
24年3月期	33,662	23,349	69.4

【個別売上明細】

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
テレビ収入	6,882	77.3	7,131	76.4	248	3.6
ラジオ収入	918	10.3	992	10.6	73	8.0
不動産事業収入	510	5.8	508	5.5	△1	△0.4
その他事業収入	587	6.6	702	7.5	114	19.6
合計	8,898	100.0	9,333	100.0	435	4.9

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。